

オンネトー

概要

オンネトーは、阿寒湖畔エコミュージアムセンターから車で約 25 分です。オンネトーは阿寒摩周国立公園の最西端にある湖で、雌阿寒岳が噴火し、螺湾川の上流が堰き止められて形成されたと考えられています。オンネトーの最大の特徴として、天候、見る場所や時間帯によって、不思議なことに、湖水が様々に色を変えるように見えることが挙げられます。

湖水の特徴

アイヌ語で、オンネトーとは「年老いた、大きな（オンネ）＋沼（トー）」という意味です。オンネトーは、雌阿寒岳の西山麓に位置し、湖面標高 623m、これは阿寒湖沼群の中で最も高い標高にあたります。北海道三大秘湖の 1 つとしても知られており、晴れた日には、湖は息をのむほど美しいコバルトブルーやエメラルドグリーンといった色に変化し、オンネトーブルーと称されます。とりわけ、秋は、オンネトーブルーの水面に映える空、山、紅葉のコントラストは圧巻です。このオンネトーの独特な色は、透明度の高い湖水の色と湖底に堆積した泥の色が混ざり合うことによって作り出されています。また、オンネトーの特徴の 1 つに湖の pH が、長期的に酸性から弱アルカリ性まで変化し続けていることも挙げられます。これは人為的な操作がなく自然現象によるものだと言われています。現時点では、ほぼ中性であり、以前は確認できなかった藻や小魚が少しずつ見かけるようになってきています。

楽しみ方

湖の西岸には遊歩道があり、雌阿寒温泉からオンネトー国設野営場まで約 50 分で歩くことができます。クマゲラやシマリスのような動物を見かけることもできるでしょう。オンネトー国設野営場は、湖の南岸の森林帯にあり、静寂な雰囲気の中でキャンプを楽しむことができます。6 月から 10 月まで開いています。オンネトーの綺麗な色彩を守るため、湖へのカヌーなど船の乗り入れは禁止されています。